

## 第18回青梅市梅の里再生計画推進委員会議事要旨

日 時 平成31年4月10日(水) 15:00~16:45

場 所 青梅市役所本庁舎3階教育委員会会議室

出席者 委員 13名

深澤委員、野崎委員、小澤委員、福島委員、石川(清)委員、高野委員、井上委員、渡邊委員、石川(毅)委員、鈴木委員、廣田委員、原島委員、越前委員

オブザーバー 2名

東京都西多摩農業改良普及センター 久保田所長

東京都産業労働局観光部振興課多摩島しょ観光振興担当 唐川課長代理

事務局 12名

### 1 あいさつ

### 2 報告事項

- (1) 平成30年度梅樹再植栽の結果について(資料1)
- (2) 梅の里再生基金の状況(平成25年度~令和2年度)について(資料2)
- (3) 農地植栽用に管理・育成している梅苗木について(資料3)
- (4) 平成31年度(令和元年度)梅の公園梅樹植栽工事等の予定について(資料4)
- (5) 平成30年度地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について(資料5)
- (6) 平成30年度「吉野梅郷梅まつり」の実施結果について(資料6)

### 3 協議事項

梅の里再生・復興プラン 平成31年度版について(資料7)

### 4 その他

配布資料 (資料1) 平成30年度梅樹再植栽の結果について

(資料2) 梅の里再生基金の状況(平成25年度~令和2年度)について

(資料3) 農地植栽用に管理・育成している梅苗木について

(資料4) 平成31年度(令和元年度)梅の公園梅樹植栽工事等の予定について

(資料5) 平成30年度地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について

(資料6) 平成30年度「吉野梅郷梅まつり」の実施結果について

(資料7) 梅の里再生・復興プラン 平成31年度版について

## 議 事

### 1 あいさつ

市長

- ・本日は大変お忙しい中、御出席をいただきまして厚くお礼申し上げます。
- ・4月1日に、新元号が「令和」と発表されました。「万葉集」巻5の梅の花の歌、三十二首の序文から取ったもので、「見事に咲く梅の花のように、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができるように」との願いが込められているとお聞きしました。
- ・この元号は、行政と地域が一丸となって「梅の里再生」を目指している私たちにとりまして、明日への希望を感じさせてくれる元号ではないかと思った所です。

- ・本日は、平成三十年度の梅樹の再植栽結果や「吉野梅郷梅まつり」の実施結果について、御報告させていただくと共に、新年度の梅の公園の梅樹植栽や施設整備についての御報告もごさいます。
- ・企業版ふるさと納税につきましても、多数の御寄付が寄せられており、その御報告と、梅の里再生基金の状況についても担当の方からお話しさせていただきます。
- ・また、新年度の梅の里再生・復興プランをご提示いたしますので、委員のみなさまの忌憚のない御意見を頂戴したいと存じます。今後も梅の里再生に向けて、なお一層の御指導・御協力をいただきますようお願いいたします。

#### 委員長

- ・本日は第18回梅の里再生計画推進委員会に御出席いただきありがとうございます。今年の4月で丸10年の時が過ぎたわけですが、梅樹も少しずつ植えられるようになり、花も咲くようになりました。3月10日の観梅市民まつりには、大勢の方に来ていただきましたが、まだ梅の公園の木は小さく見ごたえがある所まではいっておりません。この問題は時間が経たないと解決しないと思うところです。
- ・梅の里再生に対してもまだまだ課題がありますので、委員の皆様の忌憚のない御意見を戴きながら進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○配布資料の確認を行った。

○4月1日付人事異動のあった東京都西多摩農業改良普及センター所長と市事務局の紹介を行った。

## 2 報告事項

(1) 平成30年度梅樹再植栽の結果について

事務局

○資料1について説明した。(※省略)

委員

- ・農地への植栽欄の枯損19本について、枯れた原因は何なのかお聞きしたい。調査していますか。

委員

- ・確認ですが、農地の枯れたもの19本は平成28年度から30年度までの間に植えたものの中でという認識で良いのでしょうか。

事務局

- ・そのとおりです。

事務局

- ・梅が枯れた原因ですが、細かいところは不明です。暑さや水の影響が大きいと考えますが、具体的な把握はしておりません。

委員

- ・昨年は植えた時期が物凄く乾いていたのでそれが原因かなと思いました。最初に植えた年は根巻をしないでくるんだだけでしたが、2年目以降はしっかり根巻をしているので、管理を徹底していただければ枯損は少ないと思います。せっかく植えたものが枯れてしまうのは大変もったいないのでその辺よろしく願いします。

(2) 梅の里再生基金の状況（平成25年度～令和2年度）について

事務局

○資料2について説明した。（※省略）

特になし

(3) 農地植栽用に管理・育成している梅苗木について

事務局

○資料3について説明した。（※省略）

委員

- ・前回も同様の意見があったと思いますが、日高市の637本について、農地の植栽もかなり埋まってきたり、そろそろ庭木としての活用も考えた方が良くと思います。地区全体の植栽が増えれば、梅の里再生に一步近づくとと思いますが、その辺はどのように考えているのでしょうか。

事務局

- ・まさに委員のおっしゃるように、日高での育成の限界が近づいていることもあり、どこかのタイミングで庭木についても考えていくことになると思います。今のところは、強化対策地区内の再植栽樹は全部市が管理するように国から指示がありますので、庭木を認めた時に日高の苗以外を植栽したいという希望があった場合、すべてを市が把握できるのかという懸念があります。今後は農協さんとも相談しながら、いわゆる防除地区の指定が解除になった富岡地区等に植栽を進める、また公共施設には極力植えるなどの方向を考えていきたいと思っています。

委員

- ・梅まつりの時に「どこで梅の木を売っているのか」との問合せを複数受けました。持ち出しはできない現状についての説明をしましたが、それでは持ち込んでも良いのかという話もされました。こういうことを言われるのは、まだまだウイルスについて情報が浸透していないのかなと感じた所です。

(4) 平成31年度（令和元年度）梅の公園梅樹植栽工事等の予定について

事務局

○資料4について説明した。（※省略）

委員

- ・梅の公園の一番上の尾根とその下の道の間で、土留めがなく崩れそうな所があります。見ていただければと思います。

事務局

- ・施設整備の中でという考えもありますが、早急に現地を確認し、必要な対策を取りたいと思います。

委員

- ・彼岸花の球根の事です、イノシシの被害は大丈夫ですか。

#### 事務局

- ・一部にイノシシが掘った跡があります。ですが、植えた第一東屋<sup>あずまや</sup>の下は少ないと感じています。エサになるミミズを求めて出てくるのだと思いますが、日当たりが良いせいなのか少ないようです。

#### 委員

- ・実はお寺に彼岸花を植えているのですが、かなりイノシシに荒らされています。
- ・以前梅の公園には水仙をかなり植えましたが、その後育っていません。せっかく植えても有効に花が咲かないので、そういう面で心配しています。

#### 事務局

- ・平成30年度に植栽した彼岸花は、秋に咲いたのを確認しています。今年度継続して植える予定の分についても同様に咲くと考えています。
- ・もう1点、水仙を東側の所にまとめて植えていますが、ここ数年よくない状態です。園路沿いに植えたものは咲いています。原因は不明ですが、東側の畑状に植えた所は今後対策しなければいけないと思っています。

#### 委員長

- ・ちなみに福寿草はどうですか。

#### 事務局

- ・福寿草につきましては、花が咲いているのを確認しています。

#### 委員

- ・梅の開花の件ですが、最初公園の正面から見て咲いているようには見えませんでした。梅まつりの後半になってからやっと咲いてきたかなという状態になりました。3月23日、24日頃になって、正面の階段の両側などピンクが多かったですが、見頃になりました。そのところはもう少し植替えなどをして早く咲くものを持ってきてもいいのではと思いました。植替えができるかわかりませんが。

#### 事務局

- ・花の咲く時期については、やはり1年2年での判断は難しいと考えます。木が大きくなることも必要ですし、気温との関係など様々な要因が考えられますので、何年か様子を見た上で考えていきたいと思っています。

#### (5) 平成30年度地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について

#### 事務局

○資料5について説明した。（※省略）

#### 委員

- ・梅の公園の来園者数ですが、2年目が減ってしまったのは残念です。お天気ですが、梅まつり期間中の3月3日は雨でしたが、どの年も雨は降るので今年はそんなに悪い年ではなかったと思うのですが、目標を多くしていたにもかかわらず、人数が減ってしまった原因についてどういう風に分析されていますか。

#### 事務局

- ・来場者数は、前年に比べて1,360人減っております。内訳は今年の観梅市民まつりが13,000人、昨年が14,000人となっております。その差が主な原因となっております。その理由としては、降りませんでしたが数日前から雨の予報が流れており、当日も寒かったのでその辺が一番の要因ととらえているところです。

#### 委員長

- ・「KPI」値が、平成30年度(2年目)の目標に対して53パーセントの実績となっておりますが、何か影響があるのですか。

#### 事務局

- ・確かに初年度30,000人に対し27,989人、2年目が50,000人に対し26,629人となっておりますが、この数字をもって評価されて何かあるということはありません。

#### (6) 平成30年度「吉野梅郷梅まつり」の実施結果について

##### 事務局

○資料6について説明した。(※省略)

##### 委員

- ・商店会として土日祭日は出ていたのですが、今年はあまり苦情がありませんでした。前年度に要望を出させていただき、ベビーベッドやトイレの洋式化などいろいろやっていただいたからだと思いますが、何もありませんでした。
- ・リーフレットなどで宣伝した効果があったのか、初めての方が相当多かったように思います。今年で3年目の梅ですという説明に、また来年も来ようという方が大分いましたので、商店会としては、観梅客が増えたかなという感触がありました。
- ・ロウバイはないのかとの質問に12月頃から咲き始め、600本程度あると説明したところ、もっと早く来ればよかったとの話も聞きました。またサンシュユの黄色い花が梅よりきれいとの声もあり、まとまって咲いていれば見ごたえがあると感じた所です。

##### 委員

- ・今回からまた梅の公園のガイドをさせていただきました。珍しいものも含め140種もの梅を植えていただき、園路近くには見栄えのする成木が植えられ、名札も以前よりたくさん付けていただきありがたいです。梅の公園としての下地ができた所で、5点要望したいことがあります。
- ・お気づきのものもあるかと思いますが、名札の中に誤りのものがあります。調べたところでは20種類位ありました。例えば一重の花なのに八重と表示されているものがありました。面白がる人がいて、ネット上で拡がってしまったらと気になります。

- ・吊るし雛を飾っているコーナーでのことですが、近くに四角い石が複数置いてありました。それを見た方に「工事中なのに公開しているのか」と言われてしまったので、別の場所に移すなど対応してほしいと思います。
- ・公園内の案内板ですが、外国人の方も来られるので、英語の案内板をお願いします。
- ・カタクリについてですが、東口側の雑木林の下郷側の斜面に見事な群生があります。その斜面を降りた所には平坦な場所もありますので、観光客に見てもらえるようにできたらいいと思います。
- ・吉野川についてですが、日本庭園の方から水辺に出られるようになっていますが、できれば梅美橋、梅酔橋からも階段を付けて降りられるようにしていただけると回遊できるようになるので、夏場も楽しめるようになるのではと思います。

#### 事務局

- ・樹名板の表記が間違っているとお話は既に伺っている所です。お気づきのものは教えていただき、次年度に向けて対応していきたいと思います。
- ・第4東屋<sup>あづまや</sup>付近の石につきましては、このままではいけないと考えていたところでした。今回のお話を受けまして必要な対策を取っていききたいと思います。
- ・案内板の英語表記ですが、先程の新年度の施設整備の御報告の中にもありましたように、サイン設置についても動き出しますので、英語表記も含めて対応していきます。
- ・カタクリの花を見てもらえるようにする事と吉野川の回遊ルートをつくるお話をいただきましたが、現在舗装がガタガタで歩きにくかったり、ベンチが傷んでいる等、公園の多くの施設が老朽化している状況のため、今ある施設をまず改修し、その整備が終わった後の検討課題として考えていきたいと思います。

### 3 協議事項

梅の里再生・復興プラン 平成31年度版について

#### 事務局

○資料7について説明した。(※省略)

#### 委員

- ・細かいことにはなりますが、伊藤園の応援自動販売機ですが、3月の時に冷たいものばかりだったように思います。温かいものと半々に置いたりできないのでしょうか。

#### 事務局

- ・この時期、温かいもの、冷たいもの、両方欲しいケースもあると思います。その辺は把握していないので、伊藤園のほうに確認したいと思います。

#### 委員

- ・共通分野にある植栽可能地区の数の目標のことですが、平成32年度は平成30年度と変わらず8地区となっています。強化対策地区3は、平成32年度の目標に加えるのは難しいのでしょうか。

#### 事務局

- ・現在、強化対策地区への再植栽を認めてもらうためには500メートルのバッファゾーンが必要な

ため、強化対策地区3は地区2に再植栽するために同じ強化対策を取っています。このままの国の考え方で行くと、新たに地区4を作らないと地区3には植えられないこととなります。ただこれからも同じ方式を取ることになると強化対策地区をさらに広げていかなければならず、現実的にはなかなか難しいと考えています。富岡地区のように通常の防除地区の解除が進んでいけば良いのですが。

- ・今後、今の強化対策地区の設定のままで地区3に植えられないか国に働きかけができればと思いますが、国の考え方がどうなるかなんとも言えない所です。

#### 委員

- ・平成31年度の重点事業からは話が少しそれるかもしれませんが、市営駐車場の確保について要望させていただきます。梅の公園付近には、現在障害者用の駐車場が4台分しかありません。以前から多くの方から駐車場の必要性が叫ばれていました。今年も私どもの役員会でさらに要望があり、梅郷の商店会でもあったようです。市としては他にも色々施策があり、限界があるとは思いますが、梅の里再生基金がありますので、これを使って公共駐車場が確保できれば将来きっと役に立つと考えます。相続などで、建売住宅や分譲地になる所もあり、民間の駐車場が当てにできなくなっている現状がありますので、危機感を持っています。
- ・候補地としては、梅の公園近くの自治会館の反対側、150坪、12台分くらいのスペースがあります。せめてこのくらいのものがあればと考えます。ただし、ネックとして利用期間が1か月半と短いこと、付近の民間駐車場が500円と有料なので、同額の料金をいただかないと民間の仕事を取ってしまうなど、検討課題が色々あると思いますが、将来を考えて平成32年度の目標に入れてもらえればありがたいと思います。

#### 事務局

- ・駐車場のことについては、今の委員さんの御意見のとおり以前から問題となっていた所です。ただ梅まつり期間中には、吉野街道から梅の公園への通りにはあまり車を入れないという話があったと記憶していますし、現在はJRとも風通しがよくなっており、まつり期間中の日向和田駅への停車や季節列車を走らせていただいていますので、できるだけ公共の交通機関を使ってほしいというスタンスもあります。
- ・吉野梅郷だけでなく駐車場の問題は、例えば御岳方面にしても色々出ています。もっと全体的な考え方を含めて検討していく必要があると思います。加えて土地の問題となってくると簡単ではないので、御意見としては良くわかりますが、ここですぐ答えは出せるものではないので、今後の課題とさせていただきたいと思います。

#### 委員

- ・梅の里再生基金が土地の取得資金として使えるのかどうか疑問がある所ですが、今しかないと思っ  
てのことです。通常は難しいだろうと思いますが、梅の里再生基金が回せるのであれば、150坪からだいたい金額が推測されると思いますので、その程度でできるのであればという提案でお話  
しました。

#### 委員

- ・平成31年度版の復興プランの観光・商業分野からの質問です。一つは、今まで梅の公園の整備を

していただいて、広くなって安全にもなったので、今後の集客のために、まず市として元号も変わったこともあるので、思い切ってシンボルとなる梅樹を公園の正面あたりに植える予定はないのかということです。現在正面右に大きなケヤキがありますが、あそこあたりがもし全山梅であったら、観光客の方たちに「咲いているな」とアピールするのではないかと考えた次第です。先日、シンボル梅樹が考えられないかと梅の公園に行った時に、サミットの記念梅樹が入口左の方に植えられていましたが、あの木はシンボルツリーにはなりそうもない、また過去のサミットの梅もなりそうもないので、せっかく元号が変わるのですから、日本一の梅の公園にするため、思い切ってシンボルとなる大きな梅樹を植えることはできないものかと考えた次第です。

- ・二つ目は、かつて鎌倉の梅、岩割の梅等、名木と言われる木が色々ありましたが、みんな伐採されてしまいました。そこで市の方で、新しいシンボルとなる木を、6つの地域がありますから、そういう地区に新しい命名をして、大きな梅の木を植えることができないかと思います。イベントもいいのですが、そろそろシンボルとなる梅を植えても良いと思います。

#### 事務局

- ・梅の公園にシンボルツリーをというお話ですが、今まで「梅の里再生計画」あるいは「施設整備計画」を作成し、平成28年度から植栽できるようになり、3年目の植栽が終わったところです。品種も確保し、全体に1,200本の梅樹植栽が計画され、それに向けて、花梅については手を尽くして福島県から確保し、公園全体を整備していくとの考えで進めてきております。その中で、シンボルツリーとなるような大きな木はそう簡単には手に入らないと感じております。
- ・平成30年度は梅サミットの記念植樹があり、新年度は梅美橋の付近の植栽等を予定しています。ここ1年2年の梅の公園の花の見ごたえは厳しいですが、5年10年を経て公園全体が花をつけるという所を目指しています。

#### 委員

- ・福島県から持ってきているということですが、シンボリックないい梅があれば、外部から持ってくるのは可能だということだと思います。今から10年経ってもかつてのような梅の公園にはなりません。だからこそ新しい視点から集客すべきではないかという発想です。吉野川あたりに植えても、やはり日経で日本一になった当時の公園と同じにはできません。ですから、それを補いつつ、新しい時代に合わせた新しいシンボルを作るなど、何か目新しいことをやって行くという視点を今持つべきだと訴えたいと思います。

#### 事務局

- ・青梅市に何がふさわしいのかということもありますが、以前梅サミットの関係で大宰府の飛梅を持ってこられないかとの話がありましたが、門外不出とのことでダメになった経緯があります。またある所で、「誓いの梅」を以前から育成していただいており、今は市内で移動ができないですが、その辺も検討していくべきだととらえています。
- ・過去の日本一となった時は40年かかっているわけですから、それなりに時間はかかると思いますが、またそこに行くまでの経過と一緒に見守りましょうというのがだいぶ浸透しているように思います。そういったことも必要かなと思います。
- ・かつてあった梅の古木が処分されてしまっていますが、その中で観光協会さんが中心となってオープンガーデンへの梅の植栽をしていただき、新しいオープンガーデンも含めて復活に向けて今すす

めている所です。いきなり百年生の木を植えることはなかなかできませんが、人が見てくれるような環境作りを観光協会さんにもやっていただいていますので、そこをうまく巡れるようなルート設定や木の見せ方を考えていくようにしたいと思います。過去の通りにはならないかもしれませんが、そうした形で巡っていくようなものを考えていきたいと思っています。

#### 委員

- ・ボランティアガイドさんが何人もいらっしゃるの、これほど説明できるような命名された梅があってもいいのではないかといい言っています。旧態依然としたかつてのものをただ復活するのではなく、時代も変わっているので、新しいアイデアを出し合って、新しいお客さんを呼ぶような方向性を失わないでほしいと要望します。

#### 委員

- ・観光のほうで、梅の里再生とは離れますが、天満公園の反対側の個人所有の桜が何十本もあり、今大変きれいです。ここから天満公園の所まで桜で繋<sup>つな</sup>げていくことが観光の方でできるのか、要望です。

#### 委員

- ・繋げていくという考えでいくと、梅の公園のカタクリのお話を少しさせていただきましたが、柚木町の即清寺から和田町の方にかけてほんの1キロくらいの間に6、7か所カタクリが群生している所があります。即清寺、梅の公園、和田橋の横、稲荷神社斜面とその奥など、200メートルくらい歩くとすぐ次の群生に当たるといことで、他にはないのではと思っています。生かしていくことができると思っています。
- ・先程140種も植えていただいたとお話しましたが、その追加です。探していただいたけれどもなかったのではないかと解釈しているのですが、吉野梅郷ゆかりの品種で、書屋の蝶、朱鷺の舞、新平家などが梅の公園にはないので、承知されているとは思いますが、何とか地道に接ぎ木とかで育てて、時間をかけて入れていただきたいと思っています。

#### 事務局

- ・今言われた青梅で生まれた品種については、私どもも課題としてとらえておりますが、苗木を生産できる場所を見つけることが難しい状況です。将来的に市内で梅の移動が可能になれば、そういった品種を増やすことができるのではないかと考えております。また、農協の花弁研究会の方とお話する機会があり、必要があれば梅の接ぎ木をすることもできると仰っていただいています。将来的に梅の木の移動ができるようになれば、その点についてもやっていきたいと思っています。

#### 委員

- ・また観光のほうです。最近鎌倉街道についてずいぶん聞かれます。登山者らしき人から、「鎌倉街道はどこにあるのか」と言われるので、下郷の竹林寺の所に看板があるので教えていますが、柚木にも看板があります。上郷、中郷にはないですね。鎌倉街道の案内があってもいいのかなと感じています。

#### 委員長

- ・看板はどこが整備するのでしょうか。

#### 副委員長

- ・観光協会で過去にマップを作ったことがあります。もし作るのならば、外国人向けの日本語、英語表記のマップ形式のものがいいですね。道しるべも必要でしょうから、合わせて並行して整備するといいかと思います。検討したいと思います。

#### 委員

- ・農業関係です。今年度の目標が収穫量4トンということで、これから徐々に増えていくと思いますが、生産樹として機能を発揮してもらうために防除について2点ほどお聞きしたい。品質の良い梅を収穫するためには黒星病対策などの殺菌剤の散布が必要かと思いますが、アブラムシ対策の殺虫剤とは違ってまったくアブラムシには関係しないものなのかが1点と、まだ生産をしていないので殺菌剤はあまり使っていないのですが、今の若木の時に少しでも怠ると将来の木に何か影響が出るのかお聞きしたいのがもう1点です。

#### 委員

- ・殺虫剤と殺菌剤とはまるっきり違いますので、アブラムシ対策は殺菌剤ではできません。ただ混用して撒けるものもあります。黒星病の問題が一番大きいですが、実がなっていない状態ならそれほど気にすることではありません。予防的にかけておくことはあっても良いですが。

#### 委員

- ・ちなみに我が家では、よく見ると小さい実がなっているので殺菌剤を撒きました。過去の経験から言うと花が散る寸前にかけるのが一番良いように思います。

#### 委員

- ・まだ青梅市の中で対象樹の移動はできないわけですよね。いつできるようになるのでしょうか。

#### 委員長

- ・防除区域が解除されるまでは無理でしょう。

#### 委員

- ・ウメ輪紋ウイルスの問題が始まった頃の事ですが、前市長とお会いする機会があり、その時金剛寺の梅の話になって、場合によっては「将門誓いの梅」が感染してしまうのではとの話になりました。そこで、金剛寺の了解をいただいて、樹苗養成振興会の方で枝をもらって接ぎ木をし、現在私が所有する今寺の畑で28本育てています。4メートル位に育っており、毎年検査をしていますが感染はしていません。「誓いの梅」なので粗末にたくありませんし、元号がここで変わりますからある程度記念の所に植えてもらえるようにしてほしいと思います。

#### 委員

- ・青梅市のシンボルですから「誓いの梅」の林を作ったら、それだけでも良いと思います。市はプリントはいろいろ出しますが、どこを見てもシンボリックなものがないです。これがシンボルですかという感じです。こういう由緒のあるものをぜひ市でも考えてもらって植えてほしい。元号が変

わるのはチャンスですから、梅の木の移動ができないと言っても市内だから何とかならないかという、大胆な発想がないものかと思います。

#### 委員

- ・感染している可能性があるということで移動できないのです。潜伏期間は3年と言われているので、感染が出なくても、汚染区域の中にあるものはダメという考え方です。国の考え方がそうになっています。

#### 委員

- ・主幹をお願いします。今出たようなことを踏まえ、11月頃の国と交渉する時に話をさせていただいて、そういう移動ができないか聞いた結果を推進委員会の中で発表していただきたい。

#### 4 その他

○報告事項として、プラムポックスウイルス対策連絡会の日程について連絡した。

#### 副委員長

- ・本日は長時間にわたりお疲れ様でした。忌憚のない貴重な御意見をたくさんいただきました。色々な御意見や市の説明を受けて、課題が見えてきたと思います。
- ・観光で一番不安なのが、梅の公園の入場者数です。去年約27,000人、今年約26,000人で1,300人位減ってしまいました。植栽も3年目になり花も見ごたえが出てきて、さらに近隣の和田町、畑中、二俣尾などにも植栽され、今年の5万人の目標値から考えて、横ばいになっているのが不安です。
- ・もう一つは、外国人の観光客がどのくらい来ているのか、これを知りたいところです。何年か前に河津桜を見に行き物凄く混んでいましたが、一緒に行った修善寺の梅林は満開で綺麗だったにもかかわらず空いていました。その違いは中国人がいるかないかでした。来年はオリンピックですから、外国人の方が増えるでしょうし、一方国内旅行は減っていますので、普通にしていると減ってしまいます。ぜひ外国人の方を誘致していただきたい。
- ・イベントも盛り上がっていますし、皆さん一生懸命やっています。梅の花も年々咲いてくると思いますので、来年は数字で観光客が増えたなというのを期待したいと思います。本日はありがとうございました。